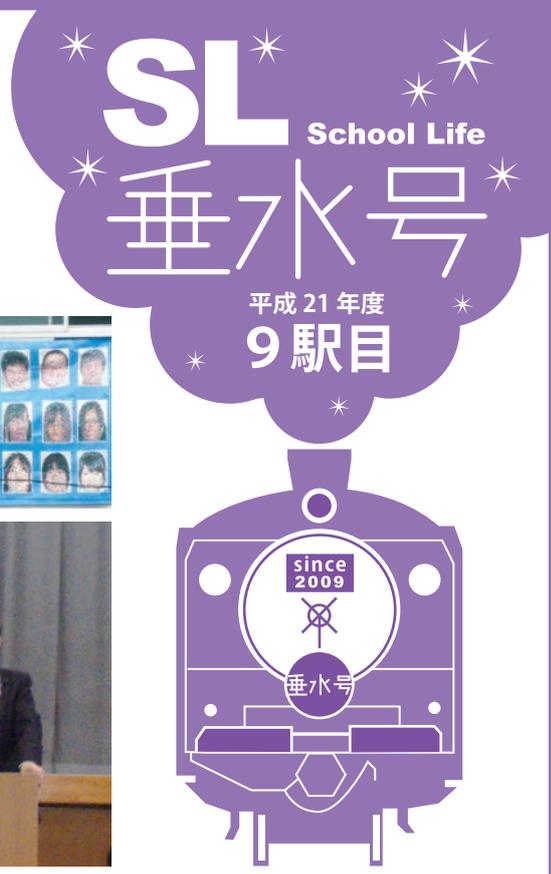


文化と人権

文=垂水高校 (☎0994-32-0062)



1 吹奏楽演奏 2・3 ファッションショー 4 モザイクアート 5 人権週間講演「石塚勝郎」氏



秋の文化祭 実行委員会が大奮闘！

平成21年最後の大会イベントである文化祭が11月12日(木)、13日(金)の両日に行われました。

今年の文化祭テーマは生徒公募で選定された「New Wave」(New Wave)と「轟(とどろ)け垂魂(しずま) (たるこん)」で、文字通り垂水高校に新しい波を、実行委員会が手間と時間をかけて楽しく心に残る文化祭をプロデュースしました。

実行委員制作のオープニング映像で盛大に開会。生徒の顔写真のモザイクアート、五千個のペットボトルキャップアート、巨大な飛び出す絵本など、生徒たち自身の手で時間をかけて作りに上げた展示作品。自作の台本による演劇や、バンド演奏、恒例の書道部による墨と光のパフォーマンスや生活デザイン科の被服製作実習の涙と汗の結晶であるファッションショーの舞台も圧巻でした。

さらされながら、生徒たちもマスク着用で臨んだ2日間でした。多くの市民の皆様から励ましの言葉をいただきました。本当にありがとうございました。

「人権週間」共に生きる心
12月4日(金)から10日(木)までの一週間は「人権週間」です。

本校では、12月10日(木)、現在鹿児島大学で講師として教鞭をとられながら、人権啓発活動にご尽力されている石塚勝郎先生を招いて、「共に生きる心で」という演題でお話をさせていただきました。「人権」を深く考える機会を持ちました。

先生は、自ら経験された老人介護の中での差別やいたわりの心、「佐賀のがばいばあちゃん」の中のエピソードを通して、貧しさを温かい心で包み込む出しゃばらない優しさについて、分かりやすく教えて下さいました。

生徒の感想より

■心に残った言葉は「真の思いやりとは、本人の努力でできることは助けず、本当に必要なときに手を貸すこと」です。ただ助けるのではなく、相手の気持ちを考えることが大切だと気付きました。(2年男子)

■グリム童話の「木の皿」が印象深かった。いつかは皆老いて死んでいく。それを自身の問題として受け止めることができれば、差別をする醜い心もなくなるだろう。(2年女子)

■「人生は才能×努力×心」が心に残った。心にはマイナスがあるというのが深いと思った。過ちを犯して人生をマイナスにしたくない。(3年男子)

1月行事予定	
1/8 (金)	始業式
1/12 (火) ~ 19 (火)	教育相談
1/16 (土)・17 (日)	大学入試センター試験
1/19 (火)	2年生就職ガイダンス
1/26 (火) ~ 29 (金)	卒業考査 (3年) 修学旅行 (2年)